



町章

(昭和31年8月8日制定)

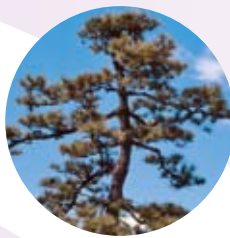
円の上半分はカタカナの「ツ」を下半分は同じく「ル」をそれぞれ図案化し、「鶴」を象徴化したものです。



町の花 ◎ りんごの花

(昭和54年3月28日制定)

町の産業に深い結びつきがあり、日常生活とも関係が深く、将来にわたってますます咲きほこる永久花です。



町の木 ◎ 松

(昭和54年3月28日制定)

常緑樹で非常に強く、たくましく、しかも縁起がよい木とされており、町では街路樹として植栽しています。



町の鳥 ◎ 丹頂鶴

(平成7年3月1日制定)

鶴田町を象徴する鶴は、昔は町に飛来していた優美な瑞鳥、町名も鶴にちなんで命名されたといわれています。



マスコットキャラクター ◎ つるりん (平成25年5月3日 誕生)

鶴田を盛り上げ、町の魅力を発信するため町内外でがんばっています。

人と触れ合うことが大好きなので、みんなに会えることを楽しみにしています。

どこかで見かけたらぜひ声をかけてください。応援をよろしくお願いします！

【デザインの特徴】町の花「りんごの花」がついた町の鳥「丹頂鶴」の帽子をかぶっています。胸には町章をあしらひ、背中には「丹頂鶴」の小さな羽と尾っぽが生えています。

町民憲章

(昭和54年3月制定)

わたくしたちは、秀峰岩木山を仰ぎ、母なる岩木川に抱かれ、恵まれた自然をもつ鶴田町民であることに大きな喜びと誇りを感じます。

わたくしたちは、輝かしい歴史と伝統の上に新しい時代のいふきを加え、すべての町民がより幸せな生活をいとむため、この憲章を定めます。

1. 花と緑を育て、明るく公害のないまちをつくりましょう。

1. スポーツに親しみ、健康で住みよいまちをつくりましょう。

1. 仕事に誇りを持ち、生産を高め豊かなまちをつくりましょう。

1. 年よりをいたわり、若い力を伸ばし希望あふれるまちをつくりましょう。

1. 教育をすすめ、創意を生かし文化の花咲くまちをつくりましょう。

町民歌

作詞／小野 正文 作曲／笹森 建英

1. 雪残る岩木山 気高く聳え

富士見湖の小波は きらめき光る

みちのくに 陽はてりそそぎ

りんごの花は 白のシンホニ

あゝ われら ふるさとの自然を愛す

2. 淀みない岩木川 静かに流れ

揺るぎない鶴寿橋 見事に架かる

松並木 風さわやかに

緑の色は「明日」のシンボル

あゝ われら ふるさとの文化を築く

3. 稲みのる津軽野は豊かに続き

澄みわたる清い空 地球を包む人は皆

仕事にはげみ 世界と結ぶ胸のハーモニ

あゝ われら ふるさとの歴史を創る

たたえる その名は

ツルタ つるた 鶴田町

Greetings From the Mayor

In 1955, Tsuruta Town combined with Mizumoto Village, Umezawa Village and Rokugo Village to become the town it is now. This year we celebrate its 60th anniversary.

The town resides on the central Tsugaru plain, with the view of Mount Iwaki in the southwest with the Iwaki River that runs through it. A variety of farmlands and orchards surround the town. Until now, the town has made full use of its environs, with specific emphasis on cultivating rice and growing apples. Since 1965, Tsuruta Town has been growing Steuben grapes, which were promulgated from overseas plants. The fields and production of Steuben grapes is the best in all of Japan. These Steuben grapes symbolize Tsuruta Town.

As well, the town strives to strengthen the bonds between the sister cities Hood River, in Oregon U.S.A., and Satsuma Town in Kagoshima prefecture. Furthermore, Tsuruta promotes the "Breakfast Law" and life longevity.

The local governments of Japan have been combatting both the aging population and the declining population. In addition to this, they have been directing their efforts towards administrative and financial management of the town for future generations. The goals of Tsuruta are to make a town with sustainable, healthy living using local resources.

Any support in this effort to promote the ongoing development for the town is appreciated.

鶴田町長

相川正光

Masamitsu Aikawa

合併60周年記念町勢要覧 発刊によせて

鶴田町は、昭和30年3月に鶴田町、水元村、梅沢村、六郷村の1町3か村が合併し、現在の姿となり、今年で合併60周年を迎えました。

当町は、津軽平野のほぼ中央に位置し、南西に秀峰岩木山を望み、町の中央を岩木川が流れる郷愁を誘う田園風景が広がっています。これまで、この恵まれた自然環境を活かし、稲作とりんご栽培を中心とした農業を主産業に歩んで参りました。昭和40年代から転作作物として導入されたブドウ「スチューベン」は、作付面積、生産量ともに日本一を誇るほどとなり、町を代表する特産品となっております。

また、アメリカ合衆国オレゴン州フッドリバー市や鹿児島さつま町との交流事業による人材育成や「朝ごはん条例」に基づく健康長寿のまちづくりにも取り組んで参りました。

全国的な少子高齢化に伴い、人口減少が進行するなかで、地方自治体は様々な課題を克服し、将来にわたって持続可能な行財政運営が求められております。

当町では、特色ある地域資源を活かした施策を推し進め、「健康で共に支え合う住みよいまちづくり」を目指してまいります。

この町勢要覧により、当町のまちづくりをご理解いただくための一助となれば幸いです。

平成27年9月